

校長通信

第5号 2019. 7. 24

今年の夏休みは、人と違った体験をしよう！

【1】はじめに

さて、みなさん、今日から夏休みです。今年の夏休みはどんな予定ですか？クラブ三昧？家族旅行？友達とワイワイガヤガヤ？この校長通信では、1年生と2年生を対象に今年の夏休みの過ごし方を提案してみたいと思います。3年生は、大学受験などの進路実現が控えていますので、それが最優先。自分の希望の実現に向けてまっしぐらに進んでください。「夏を制する者は、受験を制す」です！

【2】世の中は〇〇な人材を求めている！

今年の夏休みの過ごし方を紹介する前に、まずは大上段に構えて、今、世の中では、どんな人材が求められていると思いますか？少し考えてみましょう。そのことを考える参考に私の世代は、どんな人材が求められていたかというと、

①マニュアルがすぐに理解できて、正確に速く仕事ができる人

②上司のいう事をよく聞いて、てきぱきと仕事ができる人

というのが、大体の世間の意見でした。だから、①の能力を持っているであろうと予想された、有名難関大学の卒業生の就職率が良いという、いわゆる「学歴社会」というものが成立していました。その中でも②の人は重宝されていたので、高校・大学とスポーツをしている体育会系の学生も企業から人気でした。

それでは、今はどんな人材が求められているのでしょうか？企業が外部に発信しているメッセージを紹介しましょう。

企業名	求める人材
日立製作所	困難に立ち向かい、最後までやりとげられる人材
メルカリ	Go Bold - 大胆にやろう (リスクテイクできる人)
東京海上日動	発意に溢れ、自ら考え、発信し、行動する個性豊かな人材
任天堂	覚悟をもって困難に向き合い、お客様の笑顔のために前向きに挑戦を続けていける人
JAL	失敗を恐れず常に新しい事に挑戦し、人任せにすることなく最後までやり遂げる人材
ソフトバンク	ソフトバンクの変化を楽しみ、何事もチャンスと捉え挑戦する人

この企業が求める人材、何か共通性があることに気がつくきましたか？「挑戦」、「リスクテイク」、「やり遂げる」…、色々な言葉がありますが、一般化すると、企業が求める人材像とは

「自分で考えて行動できる人」

なのではないでしょうか？

なぜ、このような人材が求められていると思いますか？私の世代は、日本の高度経済成長を体験してきました。とにかく、大量生産・大量消費、ものをつくれれば売れる時代です。ですから、決められた通りのことを間違いなく、てきぱきと正確にできれば良かったのです。ところが、1990年代バブルが崩壊して、その後日本は低成長時代。世界第2位だったGDPは、中国にその座を明け渡しました。世界に名を轟かした日本企業のブランド価値はどんどん下がっています。と同時に、人・モノ・金・情報が国境を越えて行き交うグローバル化の時代が到来しました。都市部のコンビニで、外国人がアルバイトしているのは、もう何の違和感もない普通の風景になりま

した。そして急激に進んだグローバル化の反動が今世界各国で起こっています。アメリカンファーストを唱えて大統領になったトランプ大統領、EU離脱を決めたイギリス、ヨーロッパ各国で台頭する移民反対派勢力などなど。世界は激動の時代を迎えているのです。その上、日本は世界のどの国も経験したことの無い急激な人口減少社会に突入します（すでに、突入している）。

一寸先は闇！何が起ってもおかしくない時代

に突入していると言えるでしょう。だからこそ、「自分で考えて行動できる人」を企業は求めるのです。

【3】大学はどんな人材を求めているか？

以上のような社会の動きに連動して大学も求める人材に変化が生じています。今、大学は3つのポリシーを示さなければなりません。これは校長ブログにも書きましたから知っていますよね。そこで、関西大学を例にとって、求める人材-アドミッションポリシー-を紹介しましょう。

(1) 関西大学法学部

法学部（以下、「本学部」という）では、社会に関する正確な知識に裏付けられた論理的で説得的な議論を通じて、民主的な合意形成に貢献する意欲を持つ人を、本学部に適性のある学生として受け入れています。特に次の点が重視されます。

- 1 次の知識・技能を有している。
 - (1) 今日の世界社会の歴史的・文化的形成過程に関する知識
 - (2) 外国で行われている議論を理解するための外国語能力
 - (3) 他者の見解を十分に理解し、かつ、自己の見解を表明し得る日本語能力。
- 2 さまざまな文化的背景や価値観を持つ他者の見解の意義を認めつつ、十分に根拠づけられた議論を通じて他者を説得し、合意を形成しようという姿勢を有している。
- 3 広く社会の出来事に関心を持ち、法と政治を学ぶことで自らの考えを形づくり、さまざまな利益や価値を民主的に調整しながら問題解決に向けて行動しようとする意欲を有している。（下線部は校長）

1は「知識・技能」です。大学で学ぶために必要な知識や技能が書かれており、大学受験合格のための条件だと言えるでしょう。注目してほしいのは、2及び3です。ここで言われているのは、

「他者の見解の意義を認めつつ」「他者を説得し」「合意を形成しようという姿勢」「広く社会の出来事に関心を持ち」「自らの考えを形づくり」「問題解決に向けて行動しようとする意欲を有している。」

です。経済学部も紹介しましょう。

(2) 関西大学経済学部

経済学部（以下、「本学部」という）は、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた人を求めます。

- 1 (知識・技能)
 - ①日本史、世界史、政治・経済、地理の基本的な知識に通じていること、
 - ②論理的な思考を根底から支える基本的な日本語・英語の読解力及び数的処理能力を備えていること、
 - ③自分の興味関心を他者に説得的に伝えることができる文章表現力及び口頭発表能力を涵養していること。
- 2 (思考力・判断力・表現力等の能力)

国内外の経済活動への幅広い興味関心を持っていることはもちろん、その興味関心を自分自身の問題として捉えなおす問題発見力と、論理的な思考にもとづいて自分なりの解答を導出できる問題解決力とを有していること。
- 3 (主体的な態度)

国内外の経済問題に常に関心を持ち、それらの解決に向けて社会へ積極的に貢献しようという意欲を有していること。（下線部は校長）

この大学のアドミッションポリシーから読み取れることも、やはり、

「自分で考えて行動できる人」

という事ではないでしょうか。それでは、「自分で考えて行動できる人」になるためには、どのようにすればよいでしょうか？

まず、大切なことは、問題を発見する能力だと思います。日々を楽しく過ごして、学校や教師のいう事をやっているだけでは、身の回りにある問題は、発見できません。そして、さらに重要なことは、問題を発見するには、「興味を持つ」という事です。まさに、関西大学経済学部のアドミッションポリシーに書かれている

**興味関心を持っていることはもちろん、その興味関心を自分自身の問題として捉えなおす
問題発見力と、論理的な思考にもとづいて自分なりの解答を導出できる問題解決力とを有
している**

という事になると思います。そこで、夏休みの過ごし方です！（ずいぶん前置きが長くなってしまいました・・・
申し訳ありません）

【4】人とは違うユニークな体験をしよう！

私は、あなたたちにこの夏休み、ちょっと人とは違うユニークな体験をしてほしいと思っています。どんな体験か、少し紹介しましょう！

「夏休み体験 高校生」で検索するとこんなサイトがヒットしてきました。

(1) FutureEdu

「FutureEdu」というサイトです。そのサイトに下の案内にあるようなサマーキャンプの企画が載っていました。

【探求型プログラム】

◇VALT2019年 夏コース(応募締切7/27(金))

- ・主催:株式会社 アクティブラーニング
- ・日程:7/31(水)~8/4(日)10:00-17:30
- ・場所:東京都内(JR田町駅周辺を予定)※申込者に後日お知らせ
- ・対象年齢:小学4~6年生: Junior VALTコース・中学1年生~高校3年生(浪人生を含む): Senior VALTコース
- ・詳細・申込み: <https://www.als.co.jp/valt-summer2019>

アクティブラーニング主催のサマーキャンプVALT。VALTはVirtual Active Learning Tripの略称。旅を通して人が成長するように、クラスを一つの旅に見立て、没入感のある環境で、新しい世界に触れてほしいという思いが込められています。ハーバード大学をはじめとする国内外のトップ学生が講師(ガイド)を務め、世界について旅するように学ぶサマーキャンプです。実施言語は英語と日本語ですが、通訳によるサポートもありますので英語に慣れていないお子様でも参加可能です。最終日には保護者向けのセミナーも開催されます。

お金もかかるし、5日間のキャンプなのでかなりハードですが、主催はアクティブラーニングでテレビ出演もされた羽根氏のプロデュースです。世界や日本のトップレベルの大学の学生が学習のツアーガイドをしてくれるようです。保護者向け特別企画もあるようです。

これはさすがにハードルが高いと思われる人、次のようなサイトもヒットしました。

(2) Qulii

About Qulii

「こんな面白い活動があったなんて、高校生の時に知らなかった」
部活などで忙しかった僕らの世界は小さな街で完結していました。
日頃抱える好奇心や疑問を発散できる環境があることを、
地域や教育水準の障壁を超えて多くの学生に伝えたい。
そんな思いでQuliiのメンバーが集まりました。

この説明には、

「東京五輪や将来的な外国人労働者の受け入れなど。世界で進むグローバル化は日本でも進んでき

左のような紹介がある「Qulii」。どんなことをやっているかという、下にあるようなワークショップ。

学生団体TASP
LEGO®で考えるワークショップ第1弾
~グローバル化に対応する都市開発をしてみよう!~

<日時> 8/11 (山の日 日曜日)
<時間> 13:00~16:30(12:45~受付)
<場所> 新宿賢者屋
<対象> 社会を変えたい中高生
<参加費> 500円
〒160-0023東京都新宿区西新宿7丁目2-6
←応募フォームはこちら
<後援団体>
・学生団体Future
・賢者屋

自分の気持ちを動かす「ココロスイッチ」の探し方



イベント内容

講師：ストラテジックプランナー 加藤由佳

内容：凹んでいるとき、何だか気分が乗らないとき、誰かのひとことや環境の変化で、自分の気持ちが変わった経験はありませんか？

気づいていなかったけれど、言われてみるとココロが動く。そういう「ココロスイッチ」（＝人を動かす心理のツボ）を考えながら、私たちはアイデアや広告を日々生み出しています。

この講座ではワークを通して、心理のツボを探し出す方法を学んでいきます。自分の気持ちを動かす「ココロスイッチ」、あなたも探してみませんか？

ています。そんな中、外国人にとってわかりづらい標識や、宗教の違いによる問題など、様々な問題が都市にあるというのが現状です。そこで今回、LEGOを使用し、「グローバル化に対応した都市の開発しよう！」というイベントを開催することとなりました！

次世代を担っていく中高生が社会問題を考えるキッカケとなれば！と思っております。是非ともよろしく願いいたします。」

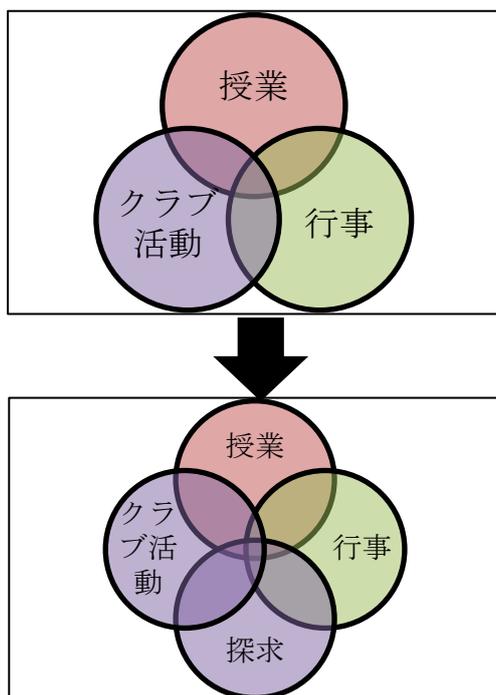
というイベント説明が載っています。なかなか面白いと思うのですが・・・いかがですか？

こんな講座もあります。「自分の気持ちを動かす『ココロスイッチ』の探し方」。講師の加藤さんは、広告業界大手の博報堂の社員です。仕事でめげたときに、私も受けてみたいですね。

(3) 国立大学 56 工学系学部

工学部に興味がある人には、「国立大学 56 工学系学部」があります。このページには、全国の国立大学工学部が主催する小学生から高校生までの■実験や◆体験などのイベントがたくさん掲載されています。工学部系に興味がある人は、ホームページを訪れてください。

【5】最後に



高校というのは、下の図のように基本的に3色で構成されています。ですが、これからの社会で求められる人材を考えた時、もう一色必要ではないかと私は考えています。それが「探究」という勉強です。「自分で考えて行動できる人」になるためには、高校・大学時代に探究的な学びが必要と考えています。今年から「総合的な学習の時間」は、「総合的な探究の時間」になりました。

私は、この探究学習が重要になることを世の中の動きから感じ取っていましたので、前任の〇〇高校では、教育と探求社の教育プログラム「クエストエデュケーション」を府立高校で初めて導入しました。〇〇高校は、初年度から「クエストカップ」という全国大会に参加しています。

今年の夏休み、1年生・2年生は、日頃は3色中心の学校生活を離れて、4色目-「探究的学習」を経験しませんか？

ご意見・ご感想、お待ちしております！
T-UenoYoshic@medu.pref.osaka.jp

